

# ここが聞きたい!!

6名が登壇

## 騒音対策を万全に！

平野 和生 議員

**問** 先の岩国市長選で現実的対応をとるとした福田氏が当選し、近隣市町を含め、足並みがそろったと考える。岩国市長は、補助金の申請をしつつも、国に対して言うべき事を言う。すなわち騒音・防音対策はしっかり要望していくとの事であるが、本町としての考えを問う。



**答** (町長) 本町としては、県と岩国市長の考えである国の外交防衛政策を尊重し、協力する一方、国に対して言うべきことは言うスタンスをとりながら、個々に要望する

事などを見極めて、住民の安心安全を最優先に取り組んで行きたい。

**問** 艦載機移転に係る特別交付金の使途についてさまざまな制約があるが、町としての考えを問う。

**答** (町長) 最も騒音が増大するであろう三浦・浮島両地区への活用はもとより、全町民の安心安全の確保、福祉・医療の充実といった町民の方から要望の多い住民生活に密着した施策に活用していきたい。事業採択にあたっては、防衛省との協議が必要であることから、協議が整い次第、随時、補正予算等で対応する。



浮島に設置された騒音測定装置

## 限界集落対策は喫緊の課題！

広田 清晴 議員

**問** 限界集落(高齢化率50%を超える小規模集落)対策は大事な政策課題、検討対策を。

**答** (町長) 集落内個数19戸以下、高齢化率50%を超える小規模高齢化集落は31集落。集落分析と対策は喫緊の課題である事は十分認識している。対応検討していく。



**問** 昨年12月議会で非核自治体宣言を全員一致で採択した。町行政も対応を求める。

**答** (町長) 戦争という過ちを二度と繰り返させないため、核兵器のない21世紀を築く事は私たちの責務。平和憲法・先の議会議

決を尊重し、今後行政の立場からもアピールしてゆく。

**問** 活気ある町づくりの為、直接委託、指定管理を問わず「声」の反映できる場、横の連携の場を作る事が大事。対応を求める。

**答** (町長) 町づくりは町民が主役。町内単独又個々で活動しているグループ、町から事業委託している個人団体の連携組織化は大事な事。可能な限り支援する。

**その他** 岩国基地関係の質問では、国による岩国市に対する庁舎補助金34億円を支払う約束破りで岩国市を混乱させた責任。前防衛事務次官が中心となり作成した基地再編交付金の誤りを指摘した。



過疎化の進む集落